



立川断層見学会

町長、町議会議員等による「立川断層見学会」が狭山池緑地で行われました。間近で見る断層から得るものや学ぶものが多くありました。

主な内容

平成 26 年度 施政方針		2・3
平成 26 年度 まちの予算		4・5
みずほ伝言板	みずほりサイクルプラザからのお知らせ 住宅関連助成制度のお知らせ ほか	6~9
インフォメーション	町税等の納め忘れはありませんか 生垣にしませんか ほか	10~13・16・17
福祉	年金から介護保険料を納めている方へ 認知症を予防します「いきいき脳の健康教室」 ほか	18~21
教育委員会からのお知らせ	平成 26 年度就学援助費のお知らせ 健康エクササイズ ほか	22~25

平成26年度

施政方針

平成26年第1回瑞穂町議会定例会で、石塚町長から平成26年度の施政方針が発表されました。そのあらましをお知らせします。

問合せ 企画課

☎557-7468

す。

我が国の経済は、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催決定という明るいニュースや、政府成長戦略、通称「アベノミクス」などの影響もあり、ゆるやかに景気回復に向かっているといわれています。しかしながら、経済循環には時間差が生じることから、地域生活の隅々まで、景気回復が実感できていない状況です。

また、4月からの消費税等の引き上げや、国際株式市場の動向が安定性を欠くなど、不安感を拭いきれません。安定した経済状況と言える日が、一日も早く訪れることを願って止みません。

国際情勢に目を向けますと、ソチオリンピックでは、スポーツを通じて、世界が競い合う姿を目にしましたが、日韓、日中関係は冷え込み、北朝鮮の脅威は依然として存在しています。また、新たにTPPへの参加協議が進められ、ますます国際社会における日本の地位と役割は複雑化していま

このような状況の中、町民が町に最も期待するのは身近な基礎自治体の、安定した政策とセーフティネットの構築にあります。

平成26年度は、これらの状況を踏まえ、町の未来と財政基盤を見据え、地に足のついた施策を念頭に予算編成を行いました。

予算の全体像

平成26年度の一般会計予算規模は、140億1480万円で、前年度の当初予算144億9190万円と比較すると、4億7710万円、3.3%の減額となりました。

主な要因は、障がい者関係の扶助費、国保、後期高齢者医療などの特別会計への繰り出し金の増額や、消費税率の引き上げなどにより、歳出規模の拡大はあるものの、2か年継続事業で

ある新郷土資料館建設工事費の年割額配分変更が大きな要因となり、予算総額では前年と比較して減額となっています。

大きな事業としては、「寄り合いハウスいこい」の運営開始、新郷土資料館の整備・開館、災害・安全安心対策の充実、箱根ヶ崎駅東口の東京都と連携した整備、そして、「水・緑と観光を繋ぐ回廊計画」の更なる推進です。以上が、全体的な概要となります。

歳入歳出の特徴

まず歳入ですが、町税は若干の増額を見込みますが、景気の下げ止まりによってもたらされたものが大きいと見込んでいます。町税のほとんどの税目で、ともに若干の増収を見込みます。いわゆる税連動交付金では増収が見込まれます。

町債の発行や財政調整基金等で、一般財源を補てんする基金繰入は抑制しています。

一方、歳出では、「みらいに ずっとほこれるまち」の実現に向け、継続性のある戦略的な取り組みを展開します。限りある財源を最大限に有効活用し、すべての施策において、必要性や有効性を検証し、効率的かつ実効性の高い施策構築を基本としました。

主な新規の取り組み

寄り合いハウスいこいを、高齢者を中心とした多世代間交流の拠点として、地域の方々との協働で運営します。だれもが生きがいをもって、世代を超えた交流が図れる施設運営を目指します。



▲寄り合いハウスいこい

また、消費税率引き上げに対する負担軽減を目的に、独自の施策として家族介護者の支援を図るため、寝たきり高齢者の介護タクシーサービス事業を開始します。これ以外にも、婚姻歴のないひとり親家庭に対し各種子育て支援施策に範囲を定め、税法上の寡婦控除を適用し負担を軽減します。

教育では、新郷土資料館の秋のオープンに向け工事を進めるとともに、展

示製作を進め貴重な郷土資源を後世に引き継ぐとともに、耕心館同様、町内外から愛される運営を目指します。

学校教育では、**瑞中の校庭芝生化**を実施します。クラブ活動など、用途が多岐にわたることから難しいとされる中学校校庭の芝生化を実現します。

また、学力向上施策では、新たに放課後補習事業を行い、さらなる拡充を図ります。このほかにも、図書館の休日開館を試行し住民サービスの向上を図ります。

経済対策では、中小企業の各種課題を解決するため、基本調査を実施し、支援事業を新たに行い地域経済の活性化に取り組みます。コミュニティ施設では、石畑地区スポーツ広場の防球ネットを改修し、安心して地域の方々が運動できるようにします。

災害対策では、地区会館、中央体育館などの耐震診断を行い、災害時の活用に備えます。また、新たな被害想定に基づき、災害時の備蓄品の備蓄量拡充や、道路の安全性の点検、安全・安心マップの作成など、安全・安心なまちづくりを推進します。

環境対策として、住宅用環境配慮型機器購入費助成制度の対象を見直すほか、道路照明灯のLED化にも着手します。

未来への投資である都市基盤整備では、町の玄関口である箱根ヶ崎駅東口を東京都との役割分担の中で整備し、早期の完成を目指します。また、懸案



▲さやま花多来里の郷

であった都道179号線の歩行者安全対策を行うため、用地の測量に着手します。

住宅施策では、住宅改修補助ならびに耐震診断、耐震改修補助を継続します。

ご不便をお掛けしている旧庁舎の移転を速やかに行い、安全性を確保するとともに、災害拠点として、また、住民のいこいの場所としてふさわしい新庁舎のあり方を、議会および住民の方々の意見を伺いながら検討を進めます。

3月末に決定した愛称・ロゴマークを「水・緑と観光を繋ぐ回廊計画」の周知に活用し、PR活動を展開していきます。拠点整備としては、この計画のビジターセンター的な機能を持つ新郷土資料館が完成し、また、近隣のさ

やま花多来里の郷の駐車場を整備するほか、隣接地を取得し、東京都が行う野山北・六道山公園西側整備との連続性が確保されます。ルート整備では殿ヶ谷地区の残堀川沿いに当たる、町道440号線の一部を、歩きやすさを念頭に改修し、今後のルート整備に役立ちます。

その他 新規に予算化した事業

「子ども子育て支援事業計画」、「障害福祉計画」および「高齢者保健福祉計画」の策定を行うとともに、障がい者を雇用する事業所に補助を行い、障がい者の日中活動系サービス推進事業を実施します。

また、7月には、姉妹都市モーガン



▲瑞穂町とモーガンヒル市 中学生同士の交流

全職員が、より効率的で、効果的な行政運営を心掛け、平成26年度予算を編成しました。

鋭意、施策実行に当たりますので、住民の皆さまの更なるご支援をお願いします。

～総額について～

●平成26年度会計別予算内訳と前年度との比較

会計名	平成26年度	平成25年度	比較	伸び率
一般会計	140億1,480万円	144億9,190万円	△4億7,710万円	△3.3%
特別会計				
国民健康保険会計	40億5,102万円	39億6,309万円	8,793万円	2.2%
駅西地区画整理会計	8億1,520万円	8億6,174万円	△4,654万円	△5.4%
下水道会計	8億6,795万円	9億3,423万円	△6,628万円	△7.1%
介護保険会計	19億3,888万円	19億3,730万円	158万円	0.1%
後期高齢者医療会計	5億4,036万円	5億 225万円	3,811万円	7.6%
殿ヶ谷財産区会計	437万円	426万円	11万円	2.7%
石畑財産区会計	1,908万円	2,026万円	△118万円	△5.8%
箱根ヶ崎財産区会計	677万円	651万円	26万円	3.9%
長岡財産区会計	70万円	67万円	3万円	4.8%
特別会計計	82億4,433万円	82億3,031万円	1,402万円	0.2%
合計	222億5,913万円	227億2,221万円	△4億6,308万円	△2.0%

※財産区特別会計を含めて記載しています。
※伸び率は千円単位の端数を含めて計算しています。

◆予算額について

一般会計予算額は、140億1,480万円となり、前年度より4億7,710万円(3.3%)の減額となりました。

主な要因としては、障がい者関係扶助費、国民健康保険および後期高齢者医療特別会計への繰出金の増額や消費税率の改定など、歳出規模拡大要素はあるものの、2か年継続事業である新郷土資料館建設事業における25年度と26年度の予算の差額が大きいため、予算額が減額となったものです。なお、町税については全体で64億2,398万円、前年度より9,443万円(1.5%)の増額を見込みます。

また、特別会計を含めた予算総額は、222億5,913万円となり、前年度より4億6,308万円(2.0%)の減額となりました。

予算の使い道 平成26年度の主な事業

～施政方針に沿って各事業を展開していきます～

健康で元気なみずほ

保健・医療など

- 福生病院組合運営および建設負担金…………… 2億4,784万円
- 予防接種(ヒブおよび子宮頸がん等)事業…………… 5,961万円
- がん検診事業…………… 3,035万円

児童・障がい者・高齢者福祉など

- 障がい者への介護給付事業…………… 4億3,125万円
- 認可外保育所利用者補助事業…………… 3,217万円
- シルバー人材センター支援事業…………… 2,693万円
- 福祉バス運行運営委託事業…………… 2,790万円
- 家族介護者支援介護タクシーサービス事業…………… 76万円
- 寄り合いハウスいこい管理運営事業…………… 232万円

一人ひとりが輝くみずほ

学校教育など

- 一小校庭芝生化学業(設計)…………… 417万円
- 瑞中校庭芝生化学業(工事)…………… 3億1,170万円
- 幼稚園児保護者負担軽減事業…………… 7,294万円
- 小中学校学力向上事業
(学習サポーター、放課後等補習事業、英語検定委託等)…………… 4,641万円
- 四小空調設備機能復旧事業(設計)…………… 1,428万円
- 二中空調設備機能復旧事業(工事)…………… 2億9,863万円
- 高等学校等入学奨学金…………… 240万円

スポーツ・レクリエーション・文化・芸術など

- スカイホール改修事業…………… 1,000万円
- 新郷土資料館建設事業…………… 5億4,303万円

魅力ある温かいみずほ

農業・商工業・観光など

- 農業振興計画策定事業…………… 378万円
- 工業課題解決支援事業…………… 102万円
- 大多摩B級グルメ事業…………… 21万円
- 観光パンフレット作成事業…………… 146万円

コミュニティ・都市交流・国際化など

- 地域コミュニティ等振興事業…………… 3,823万円
- 青少年国際交流事業…………… 209万円
- 海外留学奨学資金等助成事業…………… 450万円

安全安心やさしいみずほ

安全・安心など

- 交通安全施設整備事業…………… 5,522万円
- 防犯パトロール委託事業…………… 1,275万円
- 地域安全・安心マップ作成事業…………… 270万円

循環型社会・環境保全など

- 住宅用環境配慮型機器購入費助成事業…………… 640万円
- ごみ収集事業…………… 2億1,505万円
- みずほエコパーク管理運営事業…………… 1,425万円

快適で美しいみずほ

土地利用・土地区画整理など

- 駅西土地区画整理事業特別会計繰出金…………… 6億2,499万円
- 殿ヶ谷土地区画整理組合助成金…………… 2億 円
- 箱根ヶ崎駅周辺整備事業…………… 822万円

住宅・公園・道路など

- 町道改修および舗装工事…………… 2億 130万円
- 都市計画道路3・5・24号線整備事業…………… 9,611万円
- さやま花多来里の郷整備事業…………… 6,485万円
- 住宅関係(耐震・改修等)助成事業…………… 1,650万円

総合計画を推進するために

広報・広聴・広域行政など

- 第4次長期総合計画後期基本計画策定事業…………… 697万円

問合せ 企画課 TEL 557-7483

総額

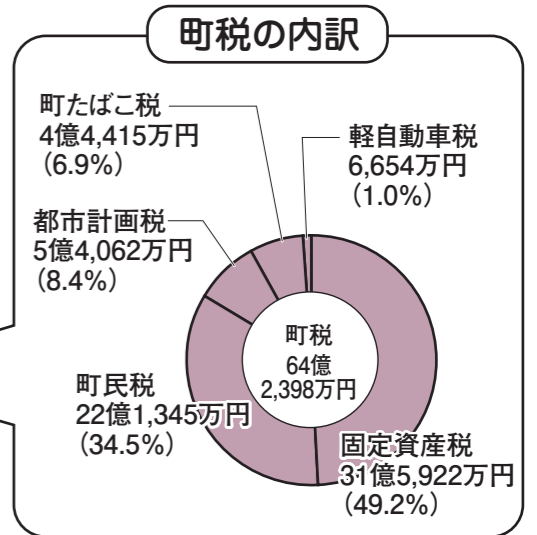
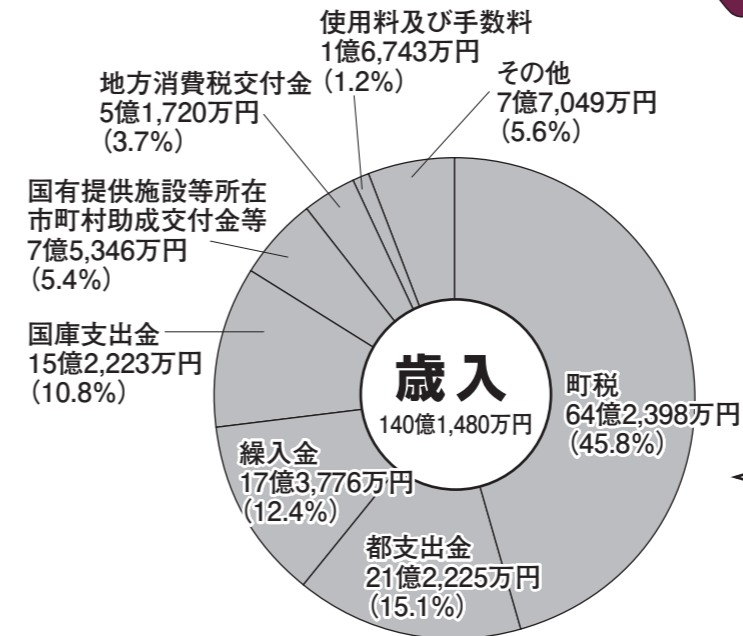
222億5,913万円

一般会計 (前年対比 2.0%の減)

140億1,480万円

(前年対比 3.3%の減)

一般会計の歳入と歳出の内訳は、円グラフの通りです。
() 内の数字は構成比



自主財源 86億8,756万円 61.9% 依存財源 53億2,724万円 38.1%

※自主財源は、町税、分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金、諸収入の合算額です。

